



2025 年 12 月 9 日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一レオ
(コード番号：9235 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ子会社 SOBA プロジェクト、AI 駆動開発チームを発足

～「人×AI」で開発体制を再設計する新組織を始動～



売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一レオ、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）の連結子会社である 株式会社 SOBA プロジェクトは、この度、AI 技術の中核に据えた新組織『AI 駆動開発チーム』を発足したことをここに発表いたします。

【AI が開発現場を“抜本的に”書き換える——その歴史的転換点へ】

近年、AI の進化は“指数関数的”と呼ぶにふさわしい速度で加速し、ソフトウェア開発そのものを根底から刷新しようとしています。特に、自律型コーディングエージェント（例：Devin など）の登場は、従来の「人がコードを書く」という前提を揺るがし、開発体制そのものを再設計させるほどのインパクトを世界中に与えています。

売れるネット広告社グループは、この巨大潮流を単なる“技術トレンド”として見過ごすつもりはありません。

「最強の売れるノウハウ®」を武器に、AI・越境・D2C テック事業を次々と拡大してきた我々だからこそ、この革命の中心で覇権を握る必然があります。こうした背景から、SOBA プロジェクト内に『AI 駆動開発チーム』を正式に発足し、AI を活用した開発を本格稼働させます。

【AI 駆動開発チームとは——“人×AI”で圧倒的な開発生産性を生む頭脳集団】

AI 駆動開発チームは、AI 駆動エンジニアを中心に構成され、「AI を開発の主役へと引き上げる」ことを使命としています。

■具体的なミッション

- AI（例：Devon）のコーディング能力をフル活用
自動生成・リファクタリング・デバッグなど、反復タスクを即時処理
- 自社ニーズに合わせた AI のカスタム&チューニング
プロジェクトごとに最適化し、AI の精度・速度を最大限に引き出す
- AI 主導の開発プロセス最適化
コードレビュー、テスト自動化などの“人の負荷”を徹底軽減
- 次世代 AI ツールのリサーチ&導入
最新の開発 AI を常時評価し、組織へインストール
- AI リテラシーの全社浸透
SOBA プロジェクトのみならず、売れるネット広告社グループ全体の開発力を底上げ
- AI 開発に特化した人材育成・採用を強化
AI 駆動開発を専門とするエンジニアを計画的に育成し、
必要スキルを備えた人材を積極採用することで、
“AI で戦う時代”に最適化された開発組織を構築



【AI 駆動開発がもたらす“開発体制の変革”——これは進化ではない、革命だ】

■1. 少人数で“超高効率”を実現

かつて複数名のプログラマーが必要だった領域を、AI が秒単位で処理。

エンジニアは高度な設計・上流戦略へ集中し、開発速度は従来比で“数倍”へ。

■2. エンジニアの役割そのものが進化

エンジニアは「コードを書く人」から、「AI を管理し、成果を最大化する司令塔」へ。
高度な判断力・設計力を生かし、人間にしかできない領域に集中可能。

■3. コスト削減 × 開発スピードが同時に加速

少人数化により人件費を圧縮しながら、開発サイクルは劇的に短縮。
市場変化に対し、これまで以上に迅速なプロダクト投入が実現。

AI 駆動開発は、単なる効率化ではありません。「開発の概念そのものが変わる」。
この革命が、SOBA プロジェクト、ひいては売れるネット広告社グループ全体の競争力を“異次元レベル”で引き上げます。

【今後の展望——AI が売れるネット広告社グループの成長エンジンとなる】

今回の AI 駆動開発チーム発足により、自社サービスの開発速度は飛躍的に向上し、クライアントからの委託開発もこれまで以上に“安価かつスピーディ”に提供可能となります。

加えて、AI 人材の育成・採用強化によって組織の“AI 対応力”を継続的に向上させ、
未来のプロダクト創出に不可欠な開発体制を長期的に確立していきます。

さらに、AI を活用した新サービス・新プロダクトの創出も視野に入れ、
売れるネット広告社グループが掲げる「AI・D2C・越境の三本柱による成長戦略」の中核を担う存在となります。

売れるネット広告社グループは今後も、最新テクノロジーを武器に、顧客価値の最大化と事業成長を全力で推進してまいります。

なお、本件は 2026 年 7 月期の売れるネット広告社グループの連結業績にプラス寄与見込みです。

以 上